

倉敷市における地域公共交通活性化・再生総合事業
(倉敷市地域公共交通会議)

事業年度
21～23年度

倉敷市では、鉄道・バス等公共交通機関の利便性・快適性の向上とともに、モビリティ・マネジメントの推進等により、自家用車から公共交通利用への転換を推進。
その一環として、鉄道駅におけるパークアンドライド駐車場やサイクルアンドライド駐輪場の整備を実施。

【倉敷市地域公共交通会議】

倉敷市、西日本旅客鉄道、水島臨海鉄道、井原鉄道、岡山県、岡山県警察本部、岡山県バス協会、岡山県タクシー協会、岡山県交通運輸産業労働組合協議会、倉敷市老人クラブ連合会、倉敷市身体障害者福祉協会、倉敷商工会議所、倉敷観光コンベンションビューロー、市民代表、学識経験者、国(岡山国道事務所、中国運輸局岡山運輸支局)

井原鉄道 川辺宿駅
P&R駐車場



水島臨海鉄道
球場前駅 C&R駐
輪場

事業の概要(22年度)

①パークアンドライド駐車場整備事業 5,758千円

井原鉄道の川辺宿駅の高架下を有効利用し、パークアンドライド駐車場15台を増設
(既存駐車場41台+15台=56台)



川辺宿駅

②鉄道駅駐輪場整備事業 2,503千円

水島臨海鉄道の球場前駅にサイクルアンドライド駐輪場を31台分整備



球場前駅(南側)



球場前駅(北側)

22年度
導入
への
プロセス

法定協議会(倉敷市地域公共交通会議)設置・連携計画策定

・公共交通の利便性・快適性の向上を図ることにより、利用者数の減少に歯止めをかけ、「市民の暮らしが便利で快適な活力あるまちづくり」を目標に、平成20年3月26日法定協議会を設置し、平成21年3月16日連携計画を策定した。

【パークアンドライド駐車場の整備】

→利用者の利便性を高めるとともに、潜在需要がある駅の駐車場を拡充することで、車から公共交通への転換を効果的に図るため、潜在需要のある水島臨海鉄道の「水島駅」や井原鉄道の「川辺宿駅」にパークアンドライド駐車場を整備することを連携計画の事業に位置づけた。

【鉄道駅駐輪場の整備】

→さらなる利用者の利便性向上や新規利用者の獲得を図るため、駐輪場や上屋が整備されていない水島臨海鉄道の「球場前駅」「福井駅」に駐輪場や上屋を整備することを連携計画の事業に位置付けた。

22年度
事業の
効果

潜在需要の掘り起こし

【パークアンドライド駐車場の整備】

従来の駐車場平均利用率が90%とほぼ満車状態であったが、増設(41台→56台)により今後さらなる利用拡大が可能となった。

駐車台数 46台 利用率平均 82% 約9台増加
※調査日平成23年4月21日

潜在需要の掘り起こし

【鉄道駅駐輪場の整備】

駅南側への新設(15台)や北側(16台)には上屋や照明が整備され、駅の南北それぞれに駐輪が可能となった。

駐輪台数 24台 利用率平均77% 約12台増加
※調査日平成23年4月28日

次年度
以降

さまざまな公共交通利用促進施策をパッケージで推進し、自家用車から公共交通利用への転換を図る。

①パークアンドライド駐車場の整備

水島地区からのアクセスが便利な水島臨海鉄道水島駅の駐車場を整備することで、倉敷方面へのパークアンドライド駐車場として、利用者の利便性を高めることにより、車から公共交通への転換を効果的に図る。

②案内情報板等の整備

各社共通のバス路線図をJR倉敷駅南口・北口に設置し、鉄道・バス利用者の利便性の向上を図る。